

## あとがき

市内の文化財総合調査の一環として本年から三年計画で文書調査に着手した。福生市での過去の調査は、昭和四十一、二年に都文化財総合調査西多摩地区の調査のおり、若干の文書調査が行なわれたが、残念ながら、その調査記録は残されていない。その後、立川愛雄氏（福生市文化財専門委員）の調査によって、数作の目録が作成されているが、市内全域の調査は今回が初めてである。

本調査の基本方針とし、市民が可能な限り調査に参加できる方法をとり、専門的指導者として、北原 進立正大学助教授の格別な指導を得、文化財専門委員の立川愛雄氏を始め市主催の古文書講座受講者の中の希望する五人の市民の参加を得て、古文書調査班を編成し、八月中旬一週間の集中調査であった。

北原 進先生には、調査ばかりか、調査班での調査方法などいろはから、現地指導まで、すこぶるお手数をわずらわしたことをおわび、お礼を申しあげたい。

何分にも素人の手での、学習しながらの積上げであるため、さまざまな弱点をふくんでいることと思いますが、八月の残暑の中、汗ふきふきの作業を一生懸命に続けた誠意をくんで下さい。いま、一冊の目録を手はじめに、今後一層努力をつづけ、市内の目録全部を完成させたいと、調査班一同がんばっています。

かつて、調査は、まったく専門家の手ににぎられていた。そのため資料は残されても、住民の中に専門家を残すことが出来なかった。いま市民の参加により、少しづつであるが、住民の中に、歴史をほりおこす無数の種が、芽を出し、地域に根を植えた樹木が、育っていくことと思えます。

この目録が、多くの市民や研究者の手で活用されれば幸いと存じます。最後にこの調査に参加された方と、史料の利用に便宜をはかってくれた文書所蔵者の方々に厚くお礼を申しあげると同時に、いろいろご指導くださった北原 進先生にお礼申し上げます。

### 古文書調査班

指導者 北原 進 立正大学助教授

調査責任者 立川愛雄 福生市文化財専門委員

調査員 高崎勇作・川鍋幸三郎・柳喜久子・田村光男・加藤有孝

福生市文化財報告―四

福生市文化財総合調査中間報告  
福生市文書目録

昭和五十年三月二十五日  
昭和五十年三月三十一日

編集 福生市教育委員会  
発行

印刷 昭和印刷株式会社

